

『授業連携報告書』

学校名	四日市市大矢知興譲小学校				
授業のテーマ	人工衛星を打ち上げ、制御しよう				
目標(授業連携をした目的等)	人工衛星をスクラッチで制御するシステムを作成し、スクラッチの基本動作を習得する。				
実施対象	学年	小6	4	クラス	合計 125 名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)			
単元	月と太陽	授業日	10	月	29～30 日

授業連携の前後の授業内容について

前	理科「月と太陽」の学習後、宇宙ステーションでの宇宙飛行士の活動を知る。		
後	宇宙に対する興味や関心、授業の感想などを発表する。		
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 15 分	JAXAの活動と人工衛星について学習した。	人工衛星に関係する身の回りのものについて考え、発表した。	・本時の学習内容を確認するとともに、日常での生活比較して話を聞くよう伝えた。
展開 65 分	JAXA×プログラミング授業連携に沿って、スクラッチの基本動作を習得し人工衛星を制御するプログラムを作成した。	講師の指示を聞き、プログラミングを作成した。 子ども同士で声をかけあい分からなくて手が止まっている子も進めることが出来た。	講師と担任とで見て回った。
まとめ 10 分	人工衛星の特徴を知る。	振り返りを書いた。	

授業連携の感想・メモ

プログラミングの基礎を学んだことによって、プログラミングに興味関心を持つことが出来た。また、人工衛星を取り上げたことによって宇宙に関心を持つことが出来た。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
休み時間に宇宙に関する書物を読む児童が増えた。 教室の新聞で宇宙に関する記事を見つけてくる子がいた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	